

- ・30年度末時点の取組状況において「D」と判定されている項目については、計画期間内の4年間の内でなんらかの着手・検討することが求められている。
- ・「D」の項目については、これまで着手できていない背景もあることから、今後の推進をはかるべきかどうかという観点も含め、進め方について検討することが求められる。

No.	具体的な取組	内容	取組主体	担当WG	考えられる取組(予定)
6	子育て環境, 医療, 高齢者福祉の充実化に向けた連携推進	・洛西ニュータウンにおいて, 子育て環境の充実や, 医療, 高齢者福祉の充実化をまち全体として推進する方向性を位置づけ, 関係するNPOや住民団体, 事業者, 大学, 行政による連携を推進	福祉系NPO(高齢者支援, 子育て支援)等, 社会福祉法人, 医療機関, 大学, UR都市機構, 公社, 京都市	住拠	早急に, 他都市, URなどを対象に, 実施している団体等を調査し, ワーキング等で情報共有を図りながら, 検討を進める。(例 森ノ宮団地 医療福祉拠点など)
9	生活支援サービスの提供体制の整備	・医療機関・福祉施設等との連携による, 安心して住み続けることのできる生活支援サービスの提供体制の整備	社会福祉法人・医療法人等, UR都市機構, 京都市, 公社	住拠	
11	市営住宅における多世代交流の場づくりの推進	・大学等との連携による市営住宅における多世代交流の場づくりの推進	地域団体, 大学, UR都市機構, 京都市	住拠	例えば, 交流の場として, URなどで実施されているものを試行的に市営住宅の集会所で実施し体験するなどしつつ, 考えられる連携先に働きかけを行う。
24	地域ごとの住環境を守るためのルールや体制づくりの検討	・地域ごとに自らの住む住宅地の景観についてよいところと課題点を確認し, 必要なルールづくりや既存ルールの適切な運用を進めるとともに, 土地利用の変更に対する対応や空き家の適正な維持管理・活用などに対応できる体制づくりを検討	地域団体, NPO法人	住拠	現在, 住宅拠点ワーキングで検討を進めている「住宅流通システム」は, 良好な住環境や景観を引き継いでいくものであることの周知を進めていくことで, 住民及び事業者等が同じ方向性を持って取り組んでいくことになる。
26	洛西ニュータウン全体の景観まちづくりのガイドラインの検討	・洛西ニュータウンで行われる今後の土地利用や建築において, 良好な住環境や景観を保全するために, 住民及び事業者等が同じ方向性を持って取り組めるようなガイドラインの検討	地域団体, NPO法人	住拠	
30	安心して参加できる子育て団体の目印「洛西子育てマーク」の作成・普及	・洛西ニュータウン内の事業所やNPO, 子育て支援団体などが, 安心して参加したり関わりを持てる団体であること目印となる「洛西子育てマーク」の作成・普及	京都市, 子育て支援団体	子育て	洛西子育てマークの必要性について, 再検討する。
32	学習支援活動への住民・大学生等の参加促進	・既に実施されている子どもの学習支援活動の展開を更に拡大するために, 住民・大学生等の参加促進	地域団体, 大学, 国際日本文化研究センター, 京都市	子育て	洛西ニュータウン周辺に立地する大学への働きかけをすすめ, 可能性を検討する。

No.	具体的な取組	内容	取組主体	担当WG	考えられる取組（予定）
35	洛西子育てマークのデザインコンペの実施	・デザインチームなどへの参画を促す仕掛けとして、「洛西子育てマーク」のデザインコンペを行い、洛西ニュータウンの中のデザインスキルを持つママさん、パパさんの発掘や「洛西子育てマーク」の認知度の向上	子育て支援団体、デザインスキルを持つ子育て中の親	子育て	洛西子育てマークの必要性について、再検討する。
36	各種コンテストの実施による人材の発掘	・「洛西魅力発信動画コンテスト」「洛西ニュータウン写真コンテスト」など、コミュニティビジネスにつながる可能性のある多様なスキルを持つ人材を発掘するための取組の実施	子育て支援団体、デザインスキルを持つ子育て中の親	子育て	今後、フォトコンテストの実施などを検討する。
37	洛西ニュータウンフリー素材集の作成	・デザインチームで作成したデザインコンテンツや、洛西ニュータウンの風景写真などをデータベースとしてオープン化し、洛西ニュータウンにおけるまちづくりコンテンツの作成に使えるフリー素材として提供 ・フリー素材としての写真などを収集する、まち歩きイベントなどの開催	子育て支援団体、京都市	子育て	今後、フォトコンテストを実施し、入賞作品の活用等を考えるなかで検討する。
46	サブセンター等の活用による働く場の創出	・高齢者をはじめ地域住民の持つ経験やスキルを活かした起業や就業を促すために、サブセンター等（住民ニーズも踏まえながら）において、洛西ニュータウンの地域課題にも対応するビジネスのインキュベーションの場やスモールオフィス等として、地域住民の働く場の創出を検討	高齢者を始めとした地域住民、民間団体、事業者、公社、京都市	サブ	各サブセンターにおける取組を協議する中で、会館等の有効活用を含め、「働く場」の確保についての可能性を検討する。
61	他事業者と連携した新たな園内散策プログラムの開発	・地元の飲食店等と連携した新たな園内散策プログラムの開発	京都市、公社、地域団体、事業者	公園	現在、竹林公園の子どもの広場の再整備と併せて、竹林公園全体の活性化の中で可能性を検討する。
68	案内板の充実	・小畑川に生息する生物等を紹介する案内板の充実	民間団体、京都市	情工	小畑川沿いに、平成14年にライオンズクラブが寄付により設置された生物等を紹介する案内板がある。しかし、内容が風化により読めない状態になっている。看板は存在するので、生物等の紹介内容を検討し、案内板の再生を図る。
80	洛西ニュータウンで住み、働く職住近接のまちづくりの検討	・地域の活性化や住民の活躍など、洛西ニュータウンの魅力をもっと高めていけるようニュータウンやその周辺において、良質な住環境の中で居住しつつ、近くで働くことのできる職住近接のまちづくりを検討	事業者、京都市	—	サブセンターにおける「働く場」の検討と合わせて可能性を検討する。

進捗確認：具体的な取組状況をA～D及びXで表したものです。

A	実現	活動により、目的を実現した状況にあるものを示しています。継続して取組を更に充実させているものも含まれます。
B	活動中	実現に向けて、すでに取組が始まっている状況にあるものを示しています。更に、具体的な活動成果があるものはB+としています。

No.	具体的な取組	内容	取組主体	担当WG	考えられる取組（予定）
C	検討中	具体的に取組を始められる段階ではなく、引き続き検討を行い、実施できる段階になり次第、取組を行うものを示しています。			
D	構想中	現時点ではまだアイデアや構想、イメージ段階のものであり、検討から始める必要があるものを示しています。			
X	要見直し	検討等を行った結果、取り組む必要性等を見直してはどうかと考えられるものを示しています。			